

協力：風早活性化協議会

さむくなってきたなあ。オオキトンボの成虫（せいちゅう）にまた会えるのは、来年の6月ころはんくらいかな。でも、卵（たまご）で冬をすごすので、待っててね！

冬になったらトンボたちはどうなるのかな？？

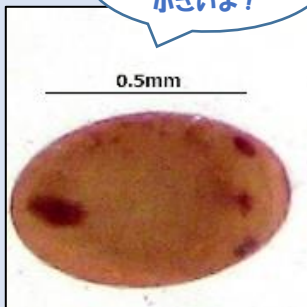
オオキトンボは卵で冬ごし！



死んだオオキトンボ (写真：高橋賢悟氏)

12月になると、オオキトンボの成虫（せいちゅう）は、寒さにたえられず、みんな死んでしまいます。ほかのトンボの成虫も、右の3種類（しゅるい）のほかはいなくなってしまいます。

オオキトンボの卵。
1ミリより小さいよ！



(写真：久松定智氏)

秋にため池に産(う)みつけられたオオキトンボの卵は、水がなくなったため池で寒(さむ)い冬をのりこえ、春になってため池に水が入られると、卵がかえって幼虫(ようちゅう)＝ヤゴが生まれます。ギンヤンマなど、ヤゴで冬をすごすトンボもいます。

成虫で冬をのりこえるトンボ！



ホソミオツネトンボ

日本には、成虫（せいちゅう）で冬をのりこえることができるトンボが3種類（しゅるい）います！どれもイトトンボのなかまで、細長い体をしています。

冬の間は、3種類とも茶色い体をしていて、草むらや木の皮（かわ）の間、林などで枝（えだ）のようにじっとしています。



ホソミイトトンボ



オツネトンボ

春になると、ホソミオツネトンボとホソミイトトンボは、きれいな水色に変わります。

(武智礼央)

ようこそ！ カニカニランド

モクスガニ

川と海を行ったり来たり♪



甲羅(こうら)の大きさ 8cmくらい(オス)	オスとメスの比較(ひかく) オスの方が大きいよ
ハサミの特徴(とくちょう)/名前の由来(ゆらい)	
毛が密(みつ)にはえていて、藻(も)くずに見えるからモクスガニどこにいる？	
成体(せいたい：親)は川などの淡水域(たんすいいき)で暮(く)らし、秋から冬に産卵(さんらん)のために海にいます。汽水域(きすいいき)*で繁殖(はんしょく)をし、子ガニとなって夏には川をのぼります。※汽水域：淡水と海水がまざったところ	
何を食べるの？	
おもに水中にある植物を食べ、動物質(しつ)のものも食べます。	

(若山勇太・写真/松井宏光)

あのムシは今！？ [ウラギンシジミ]



もん紋

翅(はね)を開くと
4cmくらい

翅(はね)の裏(うら)が白色で、はばたくとチラチラと銀色(ぎんいろ)に見えることが名前の由来(ゆらい)です。ウラギンシジミは成虫(せいちゅう)で越冬(えっとう)するチョウで、3月ごろから林と草原の境目(さかいめ)あたりをいそがしそうに飛(と)びまわります。写真(しやしん)はオスです。オスは橙色(だいだいいろ)の紋(もん)ですが、メスはそれが水色なので、見分けがつきやすいです。

(若山勇太・写真/武智礼央)

がいらいしゅ
ムネアカハラビロカマキリ(外来種)が四国ではじめて見つかりました!

「ハラビロカマキリ」のなかまは幅(はば)広い体つきで、主に木の上で生活しているよ!



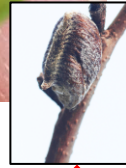
もともと日本に
いるのが
こっち

今年9月14日に大洲(おおず)市で、四国ではじめて見つかり、その後、県立とべ動物などでも確認(かくにん)されました。卵が入っている卵鞘(らんしょう)が付いた“竹ぼうき”が中国から入ってきたことで、日本に侵入(しんにゅう)したとされています。

ムネアカハラビロカマキリ
胸(むね)に赤みがある。
前脚(まえあし)の黄色い点てんは小さくて数が多い。



ハラビロカマキリ
胸(むね)に赤みがない。
前脚(まえあし)の黄色い点てんは大きくて数は少ない。



もともと日本にいるカマキリが、あらたにやってきたムネアカハラビロカマキリによって、食べ物やすみかをうばわれ、数がへるなどのえいきょうがかんがえられます。見つけたらつかまえるか、または写真(しゃしん)をとって、まつやま自然(しぜん)ネットワーク(Tel: 089-989-9798)などへ、お知らせください。

(武智礼央)

くらべてみてね!

ムネアカハラビロカマキリの卵鞘(らんしょう)の方が高さがあり、下の方は木にくっついていない。

ススキのミミズク! **草** **花** であそぼう!

ススキの穂(ほ)を10本たばねて下におりさげて頭を作ります。頭のまわりを20本の穂でつつんでしぼります。前の穂をおりかえして胸(むね)を作り、残りを左右おりかえしてしぼると完成(かんせい)。まつぼっくり、どんぐり、落ち葉で目や耳をつけます。ところでフクロウとミミズクのちがいは? 耳があるのがミミズクだよ!

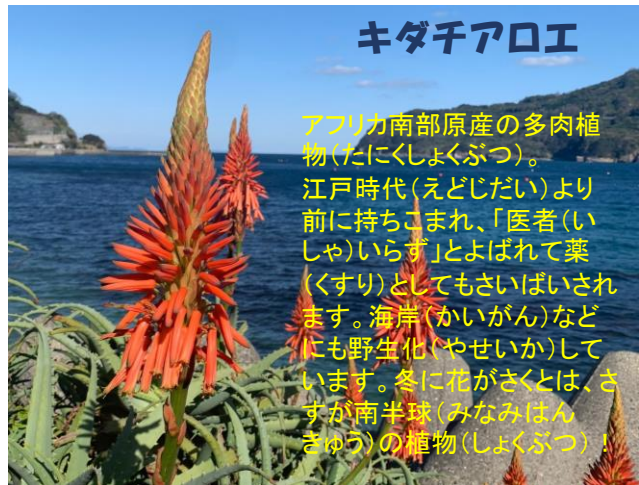


今月の植物
★クスノキ

クスノキ(クスノキ科)は「森のバター」といわれるアボカドと同じなかも。その実は栄養(えいよう)があるので、ヒヨドリ、ツグミ、シロハラ、ムクドリなどの鳥の大好物(だいこうぶつ)です。種(たね)は鳥たちに運ばれて、分布(ぶんぷ)を広げます。

そうやったんかい! 外来生物 ④④

キダチアロエ



アフリカ南部原産の多肉植物(たにくしよくぶつ)。江戸時代(えどじだい)より前に持ちこまれ、「医者(いしゃ)いらす」とよばれて薬(くすり)としてもさいばいされます。海岸(かいがん)などにも野生化(やせい化)しています。冬に花(はな)がさくとは、さすが南半球(みなみはんきゅう)の植物(しよくぶつ)!

ちょっと
いっぶく

たかなわさん
高縄山のスケート場



60年ほど前、高縄山の高さ850mの場所に大きなスケート場ができてたくさんの人でにぎわいました。今も広場(ひろば)は残っています。(北条市合併記念誌より転載)